

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所主催フィールド言語学ワークショップ

テクニカル・ワークショップ  
「オンライン研究会のすすめ方」  
開催のお知らせ・募集要項

今回は「オンライン研究会」をテーマとしたワークショップを開催します。昨今の新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、オンラインでの研究会開催の需要が高まっています。研究会のオンライン開催は、遠隔地からの参加や自宅からの参加を可能にするため、今のような非常時に限らず、多様な働き方が求められるこれからの社会において、さらなる需要拡大が見込まれます。

どこからでも参加できるのがオンライン研究会の魅力の一つですが、その一方で、対面ではないことによるやりづらさを感じる人もいます。そこでこのワークショップでは、オンラインでの研究会の運営や発表をする上で気をつけるべきポイントを整理し、共有しあいます。このワークショップへの参加が、オンラインでの研究会や勉強会を主催してみようと思うきっかけになれば幸いです。

上記のテーマにご関心をお持ちの方のご参加をお待ちしております。

記

1. 開催日時：2020年5月8日（金）14:00～16:00

13:45 ごろ 開室

14:00～15:00 ワークショップ

- ・ZOOMの基本操作（マイク、カメラ、チャット、画面共有など）
- ・ブレイクアウトセッション（自己紹介）
- ・オンラインでのコミュニケーションのコツ
- ・ミニレクチャー「オンラインでも伝わる研究発表のポイント」

15:00～16:00 レクチャー

- ・オンラインファシリテーションのポイント
- ・質疑応答
- ・その他、オンライン研究会/勉強会/授業の情報交換

※ 終了後、30分程度はそのまま開室の予定です。

※ 途中入退室は自由です。

※ 招待メールを送る必要があるため、必ず事前に参加申込みをしてください。

2. 開催場所：ZOOM 会議室

※ 開始1時間前までに参加者に通知いたします。

3. 企画・進行：青井隼人（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所）

4. 参加資格：・オンライン研究会を主催する予定がある、もしくは主催したい方

- ・これまでに参加したオンライン研究会に不満がある方
- ・オンラインでの研究発表や授業を控えている、もしくは改善したい方

※ 大学院生以上を原則とします。それ以外の方についてはメールでご相談ください。

※ フィールド科学や言語学の専攻でなくても構いません。

5. 定員 : 10名程度

6. 参加申込方法: 下記 URL にアクセスして、専用フォームからお申し込みください。折り返し自動返信メールが届きますので、ご確認ください。

なお、右記 QR コードからでも同じページにアクセスできます。

<https://lingdy.aa-ken.jp/activities/training-ws/200508-flws-tech/>



7. 申込締切: 5月7日(木) 正午 (ただし定員に達し次第締め切ります)

8. 問い合わせ先:

「多言語・多文化共生に向けた循環型の言語研究体制の構築 (LingDy3)」事務局

info-lingdy[at]aacore.net ([at]を@に変えて送信ください)

9. その他:

- ・ワークショップは日本語でおこないます。
- ・参加は無料です。
- ・他の参加者に聞いてみたいことや解決したい悩みが具体的にある方は、申込フォームの「その他」にお書きください。

※ご不明な点がございましたら、上記「8. お問い合わせ先」までご連絡ください。

※このワークショップシリーズは少数言語・危機言語のフィールドワーク、ドキュメンテーションをおこなっている研究者・学生の皆様を対象に、調査・研究に役立つ知見や知識を伝えることを目的としています。過去のテクニカル・ワークショップにつきましては、

<http://www.aa.tufs.ac.jp/ja/training/fieldling-ws/data-pro-ws> をご覧ください。

主催: 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所基幹研究「多言語・多文化共生に向けた循環型の言語研究体制の構築 (LingDy3)」

以上